

サステナブル・オペラ:オルゴール箱の「フィガロの結婚」

演出コンセプト

キャストの方々にはあたかもオルゴール箱で動く機械仕掛けの人形になった気持ちでの演技をお願いする演出になっております。

従って、動作の基本はぎくしゃくとしたぎこちなさで、スムーズな動きは逆に求めません。カクカクとした動き、と言えわかりやすいかもしれません。

時間が来ると蓋が開き、時を告げる時計塔の人形たちをイメージしていただければと思います。人形浄瑠璃や文楽の人形の動きを参考にいただけると、よろしいかと思えます。

衣装は、段ボールを胴体とする個性的なデザインになっています。段ボール胴体は、なめらかな動きを封じる役割も持たせております

衣装制作は女性用から始め、順次、男性用に取りかかります。立稽古の最中に、試着していただければと思います。

村人役の合唱陣8人は、着色した胴体だけの衣装となります。



スザンナ



伯爵夫人



マルチェリーナ

